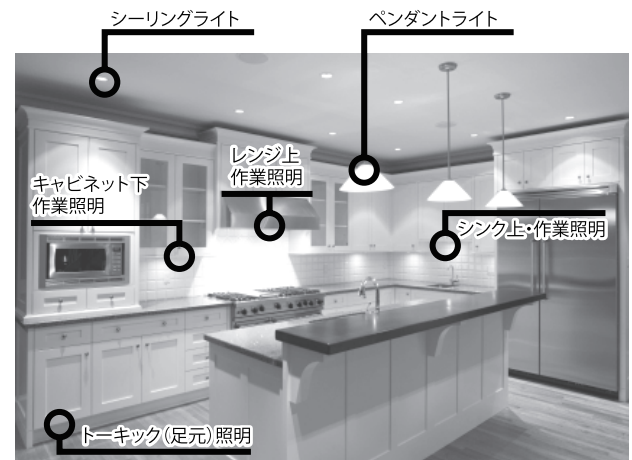


照明について

やまむろ みわ
山室 美和 インテリアデザイナー



最近、いくつかのホームパーティーにお邪魔する機会がありました。友人宅でお料理の手伝いをしている際、「キッチンが暗いので照明を足したいけど、どこにどんなものを取り付けばよいの？」や、「節電のために省エネ電球や、最近よく聞くLED電球に替えたいけど、具体的な違いがイマイチよく分からない！」と質問を受けました。

そこで今回は、少し照明のお話をさせて頂こうと思います。

大きなリモデル工事をしなくても、照明器具を必要箇所に追加したり、電球を替えたりするだけで、作業効率アッ

プ&省エネにもつながります。

キッチンエリアで使われる照明には、大きく分けて3つの種類があります。

① 部屋全体を明るく照明

天井に埋め込み式のシーリングライト、そしてアイランドカウンターやダイニングテーブル上に設置するペンダントライトやシャンデリアなど。

② 作業照明

まな板で食材を切ったり、お料理中のお鍋の中の出来具合や、洗い物中に汚れがしっかり落ちているかなど、はっきり手元が見えるように必要な明かりです。シンクやレンジ上の天井から、

またキャビネット下にもあると効果的です。

③ アクセント照明

壁掛けや絵画などに照明を当てるスポットライト的な効果

また、照明のスイッチを用途に合わせて使い分けることをお勧めします。

例えば、料理の作業中はシーリングライトと作業ライトのスイッチをオン、食事中はシャンデリアをオン、そして食後リビングでテレビを観ている家族団らん時にはキャビネット下またはペンダントライトのみをオンなど、必要に応じて照明のスイッチを上手く使うことで、空間に心地良い光の演出と省エネにもつながります。明るさを調節できるディマースイッチもあれば便利です。

電球の選び方

電球をお取り替えの際にはEnergy Star マークの付いた商品を選ばれると通常の20～30%ほど、LEDにした場合だ

と35～50%ほどの低い消費電力になります。

電球をご購入の際に気を付けて頂きたい点は光の色です。電球の色には青みを帯びたクールな印象を与えるものから、黄色みを帯びた温かい印象のものがあります。よく、天井の電球の色が全てチグハグな様子を見ることがありますが、色を統一してあげると、一層心地よい空間になりますよ。

最後に

最後にご連絡です。2月23(土)及び24日(日)、キッチン照明の無料セミナー(少人数制)をEncinitasのLight Bulbs Unlimitedにて開催する予定です。ご興味のある方はメール info@murodesigns.com または ☎ 619-296-5265 にてぜひご連絡ください。



山室 美和

San Diego State University / インテリアデザイン学科卒業後、Forever 21の店舗デザイン部に勤務。その後、日本を代表する現代美術家・村上隆氏のオフィス&スタジオ改装やハリウッドセレブリーター宅の住宅内装デザインに従事。Muro Designs設立後はキッチンデザインの賞を取るなど、幅広く活躍。